

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	田舎館村の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）														
計画の期間	令和06年度～令和07年度（2年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	田舎館村														
計画の目標	想定最大規模降雨による内水シミュレーションにより洪水が想定される区域図を作成し、住民の自助の促進を図り安全安心な暮らしを実現する。														
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		14	A	13	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	7.14	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初		R7末
1	内水ハザードマップの作成・公表により、浸水が想定される区域において、浸水区域及び避難場所の認知割合を0%（令和6年度）から100%（令和7年度）に向上。 浸水想定区域内の人が浸水区域及び避難場所を認知している割合 浸水区域及び避難場所の認知人口 / 浸水想定区域人口 × 100	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	田舎館村	直接	田舎館村	-	-	浸水対策事業	内水浸水想定区域図作成	田舎館村	■					13		-
		内水浸水リスクマネジメント推進事業																	
											小計						13		
											合計						13		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	田舎館村	直接	田舎館村	-	-	浸水対策事業	内水ハザードマップ作成	田舎館村			■				1	-
		内水ハザードマップの作成印刷を行い、住民へ配布することにより、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。																	
		内水浸水リスクマネジメント推進事業																	
												小計						1	
											合計							1	

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
田舎館村建設課において事後評価を実施	令和8年8月
	公表の方法
	村ホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	内水ハザードマップの作成印刷を行い、住民へ全村配布し、災害時における住民の適切な対応を促すとともに、浸水被害の軽減が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	公表後1ヶ月以内に、内水氾濫リスクに対する住民からの問い合わせが数件あり、今後発生する可能性がある水害に対する注意喚起を図ることができた。
○特記事項（今後の方針等）	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	浸水区域及び避難場所の認知人口 / 浸水想定区域人口 × 100		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	